

PRESS RELEASE



やまがたの上質ないいもの。
その魅力をもっと伝えたい。
この新しいブランドマークを旗印に、
山形のいいものの魅力を伝えていきます。

令和7年3月10日

県政記者クラブ報道機関 各位

山形県産業労働部産業創造振興課

Yamagata yori-i project

(山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業)

3か年の事業を総括と事業横展開のためのマニュアル発表を行う 「最終報告会」を開催します

令和4年度から最上地域をモデルエリアに実施している「ソーシャルイノベーション創出モデル事業」通称：Yamagata yori-i project(以後、yori-i project)について、令和6年度までの3か年のプロジェクト総括とこれまでの実施状況、他地域での事業実施の参考となる「マニュアル」の報告を下記により実施します。併せて会場では、先に発表した各事業者による商品開発状況や今後のイベント等を発信しますので、取材・報道についてよろしくお願いいたします。

記

日時 令和7年3月12日(水) 13:30~15:30

場所 スタートアップステーション・ジョージ山形(山形市城南町1丁目1-1)

- 内容
- ① 「山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業」の総括
 - ・ チーフコーディネーターによる全体総括
 - ・ 各アジェンダの実績報告
 - ② 「マニュアル」の説明
 - ③ 質疑

出席者 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター センター長 小野寺忠司
公益社団法人やまがた産業支援機構 常務理事 我妻 悟
yori-i project コーディネーター及びアジェンダリーダー

■ Yamagata yori-i project について

yori-i project は、産学官や産業などのセクターを超えた力を結集しデータを基に取り組む課題解決手法「コレクティブ・インパクト」を軸に、多様化する地域課題の解決やそれに伴う新規創業・事業創出を活性化し、そのノウハウを他地域に転写していくことを目指すプロジェクトです。活動に共感頂いた行政・企業・個人がボードメンバーとしてプロジェクトに参画しており、その数は現在、約150社（個人含む）に及んでいます。

プロジェクトとして本格的に課題解決に取り組んでいくための活動指針となる「人」「産業」「健康」「地域資源の保全」「環境保全」の5つの“アジェンダ”を設定し、そこから社会課題解決型ビジネスの創出を目指しています。

<参考 URL><https://yori-i.org/>

■ マニュアルの作成について

yori-i project で取り組んできた地域課題解決型ビジネスの創出は、モデルエリアとした最上地域に限らず、多くの自治体で必要とされている取り組みです。

今回作成した「マニュアル」は、同じような課題を抱えながらも「何から手をつけてよいか分からない」と感じている方々のための手引書であり、これまで実践してきた「どのような体制でどのような課題を設定し、どのような手順で進めてきたか」を具体的に記載しています。このマニュアルを活用しながら、県全体で地域課題解決型ビジネスが創出され、地域の特性に応じた持続可能な仕組みづくりに寄与することを目指して作成しました。

担 当：産業労働部 産業創造振興課
スタートアップ推進室
室長補佐 渡邊 (023-630-2364)
報道監：産業労働部次長 奥山